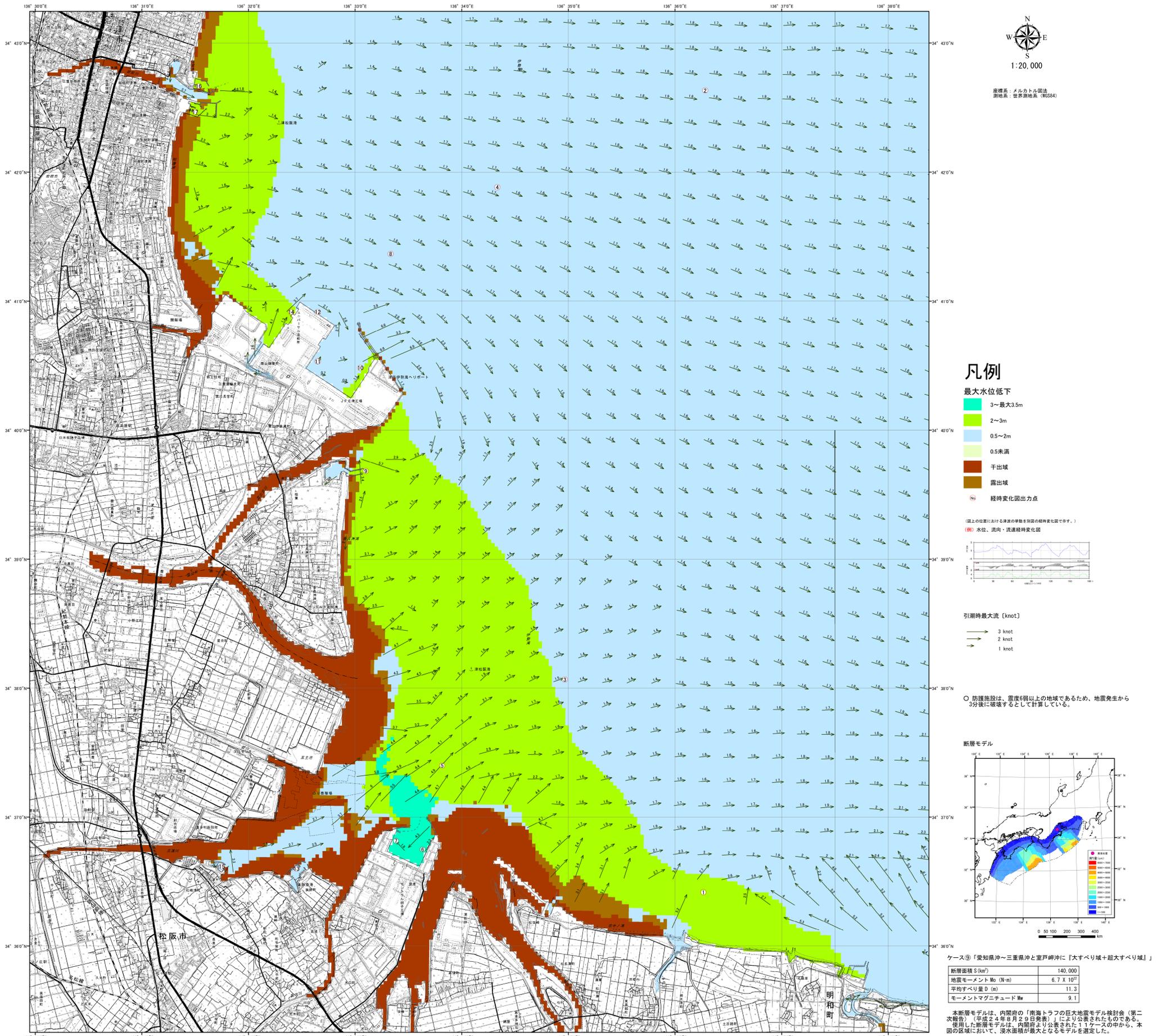


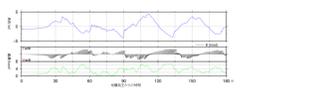
津松阪港 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件：最低水面（零位）
 隆起量：平均 -117cm (-138cm ~ -102cm)
 Zo：1.30m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



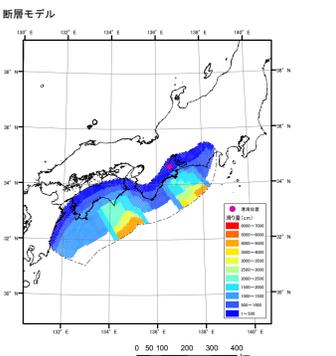
凡例

- 最大水位低下**
- 3~最大3.5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
- Ⓜ 経時変化図出力点
- (Ⓜ上の位置における津波の卓越を別図の経時変化図で示す。)
- (Ⓜ) 水位、流向、流速経時変化図



- 引潮時最大流 (knot)**
- 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。



ケース⑨「愛知県沖～三重県沖と釜戸岬沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N-m)	6.7 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	11.3
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号 平27情報 第136号）

